

# ハナビラタケ

(ハナビラタケ科)

同定日：平成18年6月27日



「はなびら」というより、「はぼたん」のほうが分かりやすいかな？  
「カリフラワーきのこ」とも呼ばれておる。

ひらひらした部分は、表も裏もないように見える。指でさわっても  
すべすべしておる。しかし、顕微鏡で見ると、片側にだけ胞子が  
作られているのじゃよ。

顔を近づけて、つくづく眺めてみると……うう～ん、いい香りじゃ～♪  
歯ごたえもよし。煮物、揚げ物、汁の具、和え物、あらゆる和食に  
ぴったりの万能選手と言えよう。

ハナビラタケを探すなら、夏もひんやりした、標高の高い土地へ行こう。  
そして、木の根本を見て歩くのじゃ。この写真のは、生きているモミの根本  
に生えておったそうじゃよ。

それにしても、この写真のハナビラタケは新鮮じゃ。  
先端まで形がくずれておらん。ごみもあまりついていない。  
スバラシイ！きのこ採りはこうありがたいものじゃわい。

